

平成26年度 うるま市景観まちづくり

景観まちづくりワークショップ（比嘉区）かわら版

※この「かわら版」は、浜比嘉島地区の景観まちづくりの取り組みについて、情報の共有や共通理解を図るために作成したものであり、全世帯に配布いたします。

景観まちづくりワークショップ（意見交換会）は、区の呼びかけのもと以下の日時で行いました。

◎日 時：平成26年11月19日（水） 19:00～21:00

◎場 所：比嘉区公民館

景観まちづくりワークショップ（意見交換会）は、比嘉区の住民および集落景観に関心ある方を対象に、以下の目的・ねらいで行いました。

①景観まちづくりの方向性（望ましい集落の姿）について

②個人でできること、地区でできること、市と協働でできること

参加者は7人と少なかったですが多くの意見がでました。以下はその概要です。

ワークショップ（意見交換会）の様子



主な意見（キーワード）

【A 将来の方向について】

◎今の環境を壊さないで、あるものを最大限に活かしていく

【B 残して活用したい資源について】

◎拝所等や歴史文化遺産

・昔あった石橋・伝統的な家屋・景観上重要な樹木

・比嘉グスク・島にたくさんある鍾乳洞

・自然の海岸線や防風林

【C 生活環境の整備について】

◎石垣とマッチした道路舗装

◎道を拡幅しないで地域にあわせて小型消防か壁式の消火栓の設置が必要

◎生活排水の整備

【D 地区指定やルール等について、その他】

◎行政が何%支援できるかを早めに提示しないと文化的価値を見いだせず壊してしまう恐れがある

◎景観地区指定と助成制度はセット、地区指定を早めにしたい

◎島民みんなが守れるルールを作りルールを理解することが大切

◎子どもたちへの地域文化の継承

◎島外の所有者への周知

【まとめ】

・共通目標として、集落景観を守っていききたい。

・そのためには景観地区指定を早めに行っていきたい。

・景観地区指定するためには守るべきルールを決めなければならない。

・ルールは行政が一方向的に作るわけではなく地域住民の総意がなければならない。

・景観を守りながら同時に生活環境整備も進めていきたい。

次回の予定

◎浜比嘉地区景観資源めぐり（午前と午後に分けて浜区と比嘉区を巡ります）

◎日時：平成27年1月18日（日） 浜 区（9:30～12:00）浜区公民館集合

比嘉区（13:30～16:00）比嘉区公民館集合